

【オリジナル問題】2023年度 第25回
国家資格 キャリアコンサルタント模擬試験

実技試験（論述） 問題用紙

実施日 ◆ 2024年XX月XX日（日）

試験時間 ◆ 14：30～15：20（50分）

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計（腕時計型ウェアラブル端末の使用は不可、音を発しないもの）、筆記具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験及び面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 第25回の国家資格キャリアコンサルタントの実技(論述)試験は、2024年3月3日（日）に実施されます。
- 国家資格キャリアコンサルタントの学科・論述・面接試験対策講座は以下の勉強会で開催しております。
(<http://cda.schoolbus.jp/>)

設問

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅰ、Ⅱを読んで、以下の問いに答えよ（事例ⅠとⅡは、同じ相談者(CL)、同じ主訴の下で行われたケースである）。（50点）

相談者（CLと略）：A、30歳 女性、四年制大学卒業

5年間勤めた会社を結婚・出産を機に退職し、現在は専業主婦

夫（35歳）、長男（3歳）と3人暮らし

キャリアコンサルタント（CCtと略）：相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

【事例Ⅰ・Ⅱ共通部分】

CL1：3年前に結婚・出産を機に退職して、今は専業主婦として家庭を支えているのですが、将来のことを考えると不安になってしまって、相談にきました。

CCt1：Aさんは3年前にお仕事を退職され、専業主婦として家庭を支えているのですね。将来のことを考えると不安になったということですが、何かあったのですか。

CL2：子供が3歳になって、育児も少しだけ落ち着いてきました。それに保育園への入園も考えているので、仕事を始めようか考えているんです。でも、特にやりたいことがあるわけでもなく、夫からは無理に働かなくてもいいと言われていて、なかなか行動に移せません。あと今になって思えば、以前の仕事のことにしばられて、先のことを考えていなかったようにも思います。

CCt2：行動に移せないという背景に以前のお仕事のことが関係しているようですね。

CL3：以前の会社では営業として働いていたのですが、仕事がキツくてずっと辞めようと思っていました。だから当時、妊娠したことがわかった時、これで会社を辞められると短絡的に考えてしまったんです。でも今考えると辞めなくても良かったのではと後悔しています。たとえば、異動願いを出せたのでは、育児休暇が充実している会社だったので、少し休んでリフレッシュできたのでは、復職後も時短勤務で働けば仕事の負担を減らせたのでは・・・とか。

CCt3：そうでしたか。会社を辞めたことを後悔されているのですね。

CL4：当時、夫にも相談していたのですが、私が営業の仕事に対して、いつも後ろ向きな話ばかりしていたので、夫も無理に続けろとは言いませんでした。でもあの時にもっと夫と建設的な話をしていれば、状況は変わっていたかもしれません。会社は男性の育児休暇に対しても積極的ですから、家庭の役割も二人で協力していれば、私の仕事への考え方も少し違っていた気がします。とにかく忙しくて、何も考えられずに一人で抱え込んでいました。

CCt4：なるほど。Aさんはお仕事忙しい中、一人で抱え込んでいたのですね。

CL5：でも当時はそうは思えませんでした。毎日、残業が多くて、休日出勤も当たり前で、そのうえ受注ノルマもかなり厳しかったので、プライベートのことまでは考えられませんでした。

CCt5：考えられないほどキツイお仕事だったんですね。

CL6：はい。でも実は先日、一緒に働いていた同僚と会う機会があったのですが、とても生き生きと働いていることを知って、衝撃を受けました。

【事例Ⅰ】

CCt6：Aさんは、一緒に働いていた同僚のことを本当にわかっていたのでしょうか。お話をきいてみると、当時から同僚とAさんの間で意思の疎通が取れていなかった可能性も十分考えられるわけですが。

CL7：同僚とは入社してからずっと苦楽を共にしてきた戦友だと思っています。ですから、これまでお互い本音で語り合ってきたので、あの時の思いは二人にしかわからないでしょうが。そのうえで、生き生きと働くななんて考えられなかった同僚に驚いたわけですが・・・。

CCt7：そうだとすると、Aさんの思いを同僚も汲み取っていないということです。なので、今後はお互いの思いをきちんと伝える「アサーション」のスキルが必要ではないですか。

CL8：う～ん・・・伝えるスキルですか。今回のことで、同僚から聞いた会社で起こっている変化の話をしてと思ったのですが・・・。

CCt8：確かに私もAさんの言われるように会社の変化の話は気になる場所ですが、今はスキルの習得が一番の近道だと思いますよ。

CL9：近道ですか・・・。それよりも以前の会社で今、働き方が良い方向に変わっていて、そのことに對する思いがあるのですが・・・。

CCt9：Aさんはもっと現実に目を向けるべきです。以前の会社と先ほどから何度も言っていますが、それは過去の話ですよ。今を見つめ直さないとだめですよ。いくら働き方が変わっても、前にいた会社の話でしょう。具体的に何をすべきか、今はそれが必要ではないでしょうか。

CL10：まあ、そうですね・・・もっと現実的に考えれば、不安は解消されるということですね。

CCt10：あとで振り返れば、過去はAさんにとって、些細なことだったと実感できると思いますよ。

CL11：う～ん。些細なことだと思えたらいいけど、それで今の不安が解消されるのかなあ・・・

(後略)

【事例Ⅱ】

CCt6：以前の同僚の方とお会いして、生き生きと働いていることに驚かれたとのことですが、それはどういうことですか。

CL7：当時は、営業の仕事がキツイから二人でいつも早く辞めたいと言っていました。その時は二人で励まし合いながら、何とか仕事を続けていたのですが、私の方が出産のため、会社を退職することになりました。同僚を一人残してしまったことにしばらく罪悪感を抱いていました。でも私が辞めた後に営業部内でのこれまでの働き方が問題視され、以前とは比べ物にならないくらい勤務時間や仕事自体が改善されたと聞いたんです。正直それが羨ましいと思いました。

CCt7：同期に罪悪感を抱えていたけど、働き方が改善されて羨ましいと思われたのですね。

CL8：それこそ辞めた私が今更言ってもしかたないと思います。その時は、同僚に「良かったね」と伝えましたが、内心穏やかではなかったですね。営業の仕事は好きではなかったけど、会社のことや商品が好きで入社したことを今でも思い出しますから。

CCt8：Aさんの会社や商品に対する思いを聞かせていただけますか。

CL9：子供の頃から家の中に当たり前のように商品があって、とても身近な存在だったんです。学生の時もずっと継続して使っていたので、そのうち商品のことだけじゃなくて、会社のことも調べるようになりました。大学生になってからは、企業分析もしっかりして、知れば知るほど、好きになって。絶対にこの会社に入ろうと思って、就活していました。

CCt9：Aさんにとって、その時の就職活動を振り返ってみて、いかがでしょうか。

CL10：そうですね。就活自体は意外と大変でした。思いだけでは伝わらないんだなと実感したけど、逆に強い思いは伝わるということも知りました。結果、内定をもらえた時は、本当に嬉しかった。とはいえ、今になって辞めてしまった会社に復職できるとも思えないし、当時の情熱があるかと言われれば、答えるのは難しいですね。

CCt10：内定をもらって嬉しかった時の思いと、今は違っているんですね。

CL11：そもそも今は働くこと自体に抵抗感もあって、どうしたらいいかわからない・・・

(後略)

※以下の各問いに対する解答について字数に制限はありません。ただし、解答は全て解答用紙の行内に記入してください。行外および裏面に記述されたものは採点されません。

〔問い 1〕

事例ⅠとⅡはキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例ⅠとⅡの違いを下記の 5 つの語句（指定語句） を使用して解答欄に記述せよ（同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語句の下に必ずアンダーラインを引くこと）。（15 点）

指定語句

経験 問題解決 ものの見方 助言 共感

〔問い 2〕

事例Ⅰの CCt7 と事例Ⅱの CCt9 のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しくないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記述せよ。（10 点）

〔問い 3〕

全体の相談者の語りを通して、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問題と思われる点を、具体的な例をあげて解答欄に記述せよ。（15 点）

〔問い 4〕

事例Ⅱのやりとりの後、あなたならどのようなやりとりを面談で展開していくか、その理由も含めて具体的に解答欄に記述せよ。（10 点）

